



よこはま プロバス通信

No2 2011年2月発行

<http://yokohama1probuss.web.fc2.com/TR3.html>

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横浜市中区港町3-13番地 井原内 電話：045-651-3643

祝創立10周年、 さらなる飛躍を！

会長 加藤 武
 横濱プロバス倶楽部は、本年1月に発会して10年を迎えました。プロバスクラブは、高齢化社会に対応するためにロータリークラブの奉仕活動の一環として1965年に英国で誕生し、全世界に広がりました。わが国では1988年1月に兵庫県の上新庄（清流会）クラブが第1号で、現在104のクラブが活動しております。当倶楽部の10周年記念事業としては、昨年10月の親睦旅行、本年4月の記念式典・コンサート・祝賀レセプションをはじめ記念誌の刊行、会報紙「よこはまプロバス通信」の定期発行及び会員の倍增運動～会員1人が1人以上の紹介・勧誘～の推進等です。これらの記念事業及び10周年を契機に、倶楽部の充実・さらなる飛躍をしたいと存じます。会員諸兄姉の前向きな取り組み、ご協力をお願いしたいと期待しております。

県下プロバス連絡協交流会開催

昨年10月13日、川崎西プロバスの主催で、溝の口のホテルKSPにて開催されました。当倶楽部からは会長以下10名が参加、鎌倉7名、神奈川横須賀2名、横浜港南台3名、幹事クラブからは31名が参加（総勢53人）し、親睦交流並びに情報交換を活発に行うことができました。加藤会長と荻原幹事から、2011年4月8日の次期交流会（中華街で当倶楽部10周年祝いを兼ねる）への参加を強く呼び掛けました。

川崎西プロバスクラブの紹介

2005年4月、川崎西ロータリークラブをスポンサーとして、会員46名にて発足。高津区溝口を拠点に活動をしている（例会はホテルKSPにて開催）。吉田豊現会長は4代目で、2010年6月伊東前会長時、5周年記念式典を実施している。現在会員42名で県下一の規模。

新会員紹介

伊藤 康子
 (いとう やすこ)
 横浜市栄区笠間

岡林 明弘
 (おかばやし あきひろ)
 茅ヶ崎市本宿

松下 孝
 (まつした たかし)
 横浜市青葉区もえぎ野

降旗 公英
 (ふりはた きみひで)
 茅ヶ崎市高田

岩田 慎一
 (いわた しんいち)
 川崎市幸区古市場

本橋 ふみ子
 (もとはし ふみこ)
 横浜市保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷

第113回 新春例会 (1月14日・相生本店にて)



10月例会開催(第110回)

平成22年10月7日(木)午後3時から熱海ニューフジヤホテルにて第110回移動例会が開催されました(15名出席)。

加藤会長挨拶の冒頭、本橋一喜会員の急逝が報告され、会長の音頭で黙祷と献杯が行われました。次に、新入会員の松下尚雄さん、平野正弘さんの紹介があり、引き続き「よこはまプロバス通信創刊号」発刊にご苦労された森山編集員への謝辞がありました。恒例の誕生月会員(中村会員)への祝い品贈呈は、中村会員委員長から挨拶のみ行われました。

9月の会務報告(理事会協議事項)は、以下の通りです。

(1) 新入会員紹介

(2) 創立10周年記念誌原稿集約状況、また(3) 会報紙「よこはまプロバス通信」発行について(4) 第4回県下プロバスクラブ親睦交流会及び八王子プロバスクラブ創立15周年記念行事への参加者・倶楽部補助について

(5) 12月特別例会「年忘れクリスマス例会」の内容について

(6) 9月12日(日)、旭川にて開催の第4回全日本プロバス協議会総会報告(加藤会長、荻原幹事が参加)(7) 小磯氏からの会計報告。

午後6時からは、ホテル内宴会場にて、「創立10周年記念・一泊親睦懇親会」を盛大に開催し、新入会員の平野さん、松下さん初め全員が自慢のカラオケを披露しました。1次会終了後、岩城会員も駆けつけ、会長、中村会員、岡会員等からの日本酒、ワイン、大分焼酎等を味わう2次会となり、10周年記念懇親会は夜中まで大いに盛り上がりました。翌日8日(金)、ホテルで朝食後、自由解散、皆様お疲れ様でした。

11月例会開催(第111回)

平成22年11月12日(金)正午から、山手ロータリークラブの金子会長をお招きして相生本店で第111回例会が開催されました(19名出席)。

10月会務報告(理事会協議事項)は10月理事会報告を参照。その他の事項は、以下の通りです。

(1) 10月移動例会・親睦旅行報告

(2) 第4回神奈川県プロバスクラブ連絡協議会親睦交流会、10月13日

(水)川崎にて開催(会長以下10名出席)。東京八王子プロバスクラブ創立15周年記念式典、10月17日(日)八王子にて開催(講演会・式典・パーティに会長以下8名出席)報告。

(3) 会計関係報告、以上。



▲年忘れクリスマス例会で景品の花束もらい大喜びの東野、加藤さん



11月の特別放談は、「横濱開港151年の夢—山下居留地遺跡プロムナードの提案—」と題して、横浜山手ロータリークラブの金子修司会長(写真)にお願いしました。最後に11月の歌「里の秋」を合唱して閉会しました。

12月特別例会・年忘れクリスマス会開催(第112回)

平成22年12月10日午後2時から、進交会館にて第112回例会・年忘れクリスマス会が開催されました(24名出席)

会務報告(理事会協議事項)は、11月理事会報告を参照願います。

加藤会長挨拶の後、1月入会予定の伊藤康子氏の紹介があり、会長から会員バッジ・会員名簿等の進呈がありました。

誕生月会員は、荻原幹事1人で

中村会員委員長からお祝い品贈呈が行われました。続いて、12月で退任の高橋事務局長へ、会長から感謝状の盾と金一封の贈呈がありました。創立以来の倶楽部への貢献に心より感謝いたします。

今回初めての企画、「年忘れクリスマス会」は、青木会員経営の弁慶手造りによるオードブルで盛大に行われました。

アトラクションのじゃんけんゲームでは、会長(13点)はじめ14名の会員等から65点の多くの様々な景品を提供していただき、全会員が大いに盛り上がりました。

最後に、12月から開始の「次回開催通知・出欠返信はがき配布」を行い、12月の歌、「かあさんの歌」を合唱閉会しました。

1月新春例会開催(第113回)

平成23年1月14日正午から、相生会館にて第113回新春例会が開催されました。(2月入会予定の降旗、岩田両氏を含め、24名出席)

まず恒例の「新春の語」が、松田アドバイザーから声高らかに行われ、加藤アドバイザーの新年乾杯で開会となりました。

加藤会長年頭挨拶(クラブ創設10周年記念として、全会員に図書カードのお年賀を贈呈)に続いて、新入会員(岡林明弘氏、松下孝氏)の紹介、誕生月会員へのお祝い贈呈が、中村会員委員長から行われました(松田氏84歳、小磯、青木両氏75歳、岡氏62歳、松下尚雄氏欠席)。

新春例会で祝い酒も入り、賀詞交歓の会員スピーチは、予定時間を超過して大いに盛り上がりました(加藤道子例会副委員長、進行管理お疲れ様でした)。

事務局兼務の小磯会計理事から、次回例会出欠返信はがき配布と23年上半期会費納入要請があり、引き続き1月の歌、冬景色を合唱、河崎前会長によるプロバス倶楽部へのエール実施、最後に平成23年新年記念集合写真を撮影して閉会しました。

<理事会等報告>

原則として毎月第3金曜日、午後2時から進交会館6階みなと倶楽部にて「理事会」を開催し、倶楽部の運営に当たっております。

- 10月定例理事会** (10月15日、出席者10名)
故本橋一喜氏ご逝去への対応について
11月第111回例会の内容及び開催通知について
12月第112回「年忘れクリスマス例会」について
会報紙「よこはまプロバス通信」第2号編集方針及び執筆依頼について
創立10周年記念誌原稿集約・作成状況について
1月からの事務局体制について
組織拡充(会員倍増運動の推進)について
平成21年4月以降の入会者に関する役員選出方法についてのグループ分けについて

- 11月定例理事会** (11月19日、出席者12名)
年会費の納入方法の変更(1月、7月例会時に納入)について
12月特別例会「年忘れクリスマス例会」の内容確認について
1月「新春例会」の内容及び開催通知の変更(12月例会時に通知)について
プロバス通信第2号発行及び創立10周年記念誌原稿集約・作成状況について
組織拡充(会員倍増)運動の推進・新入会員伊藤康子氏の入会承認について
事務局体制・所在地変更の各団体への通知について

- 創立10周年記念行事拡大実行委員会** (11月19日、出席者13人)
11月理事会終了後、現役員等を含めた拡大実行委員会を開催。プログラム等の内容及び業務分担を決定。確定「実施要項」を12月例会時に全会員に配布。開催直前の3月例会にて詳細説明。
4月1日に最終実行委員会を開催。

- 12月定例理事会** (12月17日、出席者12名)
1月第113回「新春例会」の内容確認について
2月第114回「例会(会員放談)及び開催通知(1月例会時に通知)について
2月例会後「サロン」開催について
プロバス通信第2号の発行、創立10周年記念誌の作成状況について
組織拡充(会員倍増)運動の推進、新入会員岡林明弘、松下孝氏の承認について

- 1月定例理事会** (1月21日、出席者13名)
2月第114回「例会」内容の確認について
3月第115回「特別放談及び創立10周年記

念行事説明会」及び開催通知(2月例会時に通知)について
会報紙「よこはまプロバス通信」第2号の発行(2月例会時に発行・配布)について
創立10周年記念誌作成状況(4月8日に発行・配布)について
組織拡充(会員倍増)運動の推進(新入会員・降旗公英、岩田慎一、本橋ふみ子さんの承認)について

4月例会は「創立10周年記念例会」(4月8日(金)、15時から重慶飯店別館)として開催。通常の例会セレモニー等は省略することとした。

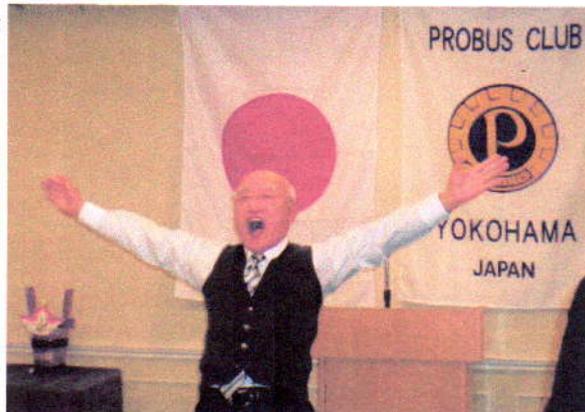
東京八王子プロバスクラブ創立15周年のつどい開催

昨年10月17日、記念講演会・演奏会に引き続き、記念式典・レセプションパーティーが開催され、当倶楽部から加藤会長以下8名が出席してお祝いすると共に、2011年4月の当倶楽部10周年記念式典への参加を要請してきました。

当日は、市民向けのイベントの後、レセプションでも工夫を凝らしたアトラクション(サウンド・オブ・ミュージックより映像と歌のコラボレーション)が行われ、主催者の意気込みが強く感じられました。

「東京八王子プロバスクラブ」の紹介

1995年10月、33人で創立(関東地区で3番目、東京地区で2番目)。97年から「生涯学習サロン」を開講、以後每期継続している。2000年には、全日本プロバス協議会設立に参画(立川会員、副会長就任)。2009年、全国プロバス協議会理事総会を八王子で開催。2010年9月現在、会員69名で旭川、京都に次ぐ規模を誇る。現会長は杉山友一氏。



▲新春例会・賀詞交換会でエールを送る河崎清二氏

▼八王子プロバスクラブ創立15周年記念行事に参加した横濱プロバス倶楽部のメンバー





港湾労働者の子女教育を横浜市内で行うことを目的とする「日本水上学校」は昭和17年7月20日（＝当時は「海の記念日」、平成8年以降は「海の日」）に中区山下町76番地（インド人商館の一角）で開校した。教師は校長兼務の伊藤伝（つたえ＝明治13年山形県新庄市出身）氏一人。生徒3人（小学6年、3年、1年＜女兒＞）ほどの小規模校である。当時横浜にあつてこの開校を新聞記事などで知った市民はどのくらいいたであろうか。

これより先、大正2年、当時陸軍看護官であつた山崎亮太郎氏は東京御茶ノ水川支流の堀割、飯田河岸の橋畔で、尿尿船（おわいぶね）の上に学齡児童が空しく遊んでいるのを見て大いに嘆き、彼らの救済に勇躍乗り出し、ついに水上学校の設置を計画したのであつた。



MM21を望むかつての水路は市民の憩いの場になって、職住接近とはいえ船の上での家族生活は横浜では最早見られない

そして大正10年10月、芝浦（現竹芝）小学校に特殊学級として「水上学校」が結成され当時41歳であつた伊藤伝氏が担任となつた。紆余曲折を経た後昭和5年に東京水上学校と改称したが10年後廃校し各種学校となつた。

一方、東京と同じ港湾都市横浜にも同様の児童が多くいることを知つた伊藤氏は東京での任務を一先ず見送り、東奔西走して横浜では小学校教育に止まらず、船員教育も施さんとして校名を横浜ではなく「日本」水上学校としたのであつた。

労働環境も、港湾荷役も変わって幸い船上生活者は激減しその故に児童は皆無に近く、学校の実態はないが横浜に伊藤氏のような救世主がおられたことを知って私は幸福である。 <6回連載の予定です>

<座談会・女性の時代>

出席者：岩城孝子（チャーターメンバー） 東野操（副会長） 加藤道子（例会副委員長） 伊藤康子（新会員） 聞き役・加藤武会長

加藤 今日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。当倶楽部はこの1月30日で10周年を迎えます。そこで、女性会員の皆様にこれまでのことと、これからどうこの会を運営していけばいいか、忌憚のないご意見を述べていただきたいと思ひます。まずはチャーターメンバーでもある岩城さんからお祈ひします。

岩城 幸いなことにと言ひますか私は50代でこの会に入れていただきました。みなさんとても熱心に会の運営をやっておられました。でも気が付いてみたら会員名簿6番の私が最古参。自分でもびっくりしています。この会はどこにもない素晴らしい会です。ですからボランティア仲間の東野さん、加藤さんにも入会していただきました。



東野 岩城さんと同じライオンズの会員で、岩城さんがいいよということならこの会に入れさせていただきました。入会間もなく役員をさせていただきましたが、皆さん紳士というか、過去のステータスにとられない本当の意味で平等なんだなと実感しました。ご高齢の方が多いので、移動例会には本当に神経を使ひました。今は若い方も増えてすんなりできるようになりました。

加藤（道） この会は会員の方々が例外なく役員を務めていただくというルールになっています。 <次号に続く>

編集後記

平成13年1月横濱プロバス倶楽部が誕生して10周年を迎えた今年は誠に意義深い年になりました。4月に行われる記念式典には大勢のご参加を頂きたい。今回の10周年に当たり様々な面での意識改革を行い大勢の方々の入会をしやすいとする為、年会費の改正等も行われました。楽しい会となる事を願うばかりです。

昨年は3名の物故者がありましたが、そう云う小生も二度の手術をしました。でもいつも前向きに生きようと思つており、人と会い、笑ひのある人生こそ最高の良薬と思つています。喜寿を迎え50年を振り返る時、夢追う日々だった20代。今日も元気で困つたものなの30代。夢中で働いた活力あふれる40代。それから30年、、、

今日も無事 小便出た日の うれしきよ

今回の第2号プロバス通信に会員の皆様から沢山の寄稿を頂き、素晴らしい紙面を編集する事ができ、また編集委員のご尽力に感謝、感謝・・・

（情報委員長・青木 伊平）